



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社

コード番号 6287 URL <https://www.sato.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 グループCEO （氏名）小沼宏行

問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO （氏名）益子 統 TEL 03-6628-2423

半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月9日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	76,090	9.0	5,778	25.1	4,883	13.4	3,028	52.0
2024年3月期中間期	69,786	△1.0	4,620	22.4	4,307	△13.3	1,991	△38.3

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,549百万円（△46.3%） 2024年3月期中間期 4,748百万円（△52.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	93.36	93.34
2024年3月期中間期	61.47	61.46

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	132,050	75,545	54.9	2,235.10
2024年3月期	132,457	74,085	53.8	2,199.41

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 72,559百万円 2024年3月期 71,276百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	36.00	—	37.00	73.00
2025年3月期	—	37.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	37.00	74.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,500	7.0	11,400	9.8	10,400	16.1	6,600	85.1	203.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	33,635,942株	2024年3月期	34,921,242株
2025年3月期中間期	1,172,429株	2024年3月期	2,513,996株
2025年3月期中間期	32,434,645株	2024年3月期中間期	32,398,100株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当社グループは、「お客さまに最も信頼され、お客さまと共に成長し、変わりゆく社会から必要とされ続ける会社になる。」というビジョン実現のため、経営方針や成長戦略及び経営目標等を定めた2028年度までの5カ年の中期経営計画（以下、中計）を策定し、実行に移しております。その中計を通じ、高度なタギングである“Perfect and Unique Tagging”を活用し、あらゆるものが情報化され、社会のうごきが最適化されている未来の実現への貢献をめざします。

中計の5年間のうち、最初の2年ほどを利益回復期、それ以降を成長投資再開期と位置づけています。利益回復期では、コアビジネスを強化します。日本事業は収益性の高い体質へ再生させ、海外事業は持続的・効率的な成長を追求します。成長投資再開期においては、回復した収益基盤から創出される利益を、“Perfect and Unique Tagging”などに振り向け、成長加速と新たな収益基盤構築をめざします。なお、中計期間を通して経営管理体制の強化や資本効率の改善、サステナビリティ経営の推進など、経営基盤も強化してまいります。

当期におきましては、セグメント別の状況に記載の通り日本事業、海外事業ともに増収増益となり、連結の売上高及び営業利益は、中間連結会計期間として過去最高となりました。

なお、アルゼンチンの子会社の財務諸表について、「超インフレ経済下における財務報告」(IAS第29号)に基づき会計上の調整を加え、その影響を正味貨幣持高に関する損失として営業外費用に計上しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は76,090百万円（前年同期比109.0%）、営業利益5,778百万円（同125.1%）、経常利益4,883百万円（同113.4%）、親会社株主に帰属する中間純利益3,028百万円（同152.0%）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### <自動認識ソリューション事業（日本）>

日本事業においては、メカトロが物流2024年問題対応やDX投資による需要を捕捉して増収、サプライもRFIDソリューション販売増や価格改定効果により増収となりました。また、増収効果、価格改定効果、プリンタ輸出の増加により増益となりました。

以上の結果、売上高37,545百万円（前年同期比103.6%）、セグメント利益959百万円（前年同期はセグメント損失103百万円）となりました。

市場別の売上高は、決算説明会資料をご覧ください。

<https://www.sato.co.jp/about/ir/library/settlement>

#### <自動認識ソリューション事業（海外）>

海外事業においては、ベース事業はアジア・オセアニアがけん引して増収、プライマリーラベルを専業とする各社も日用品向けの需要が堅調に推移して増収となりました。また、増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高38,545百万円（前年同期比114.9% [為替影響を除く前年同期比113.5%]）、セグメント利益4,889百万円（同108.3%）となりました。

ベース・プライマリーラベル別及び地域別の業績は、決算説明会資料をご覧ください。

<https://www.sato.co.jp/about/ir/library/settlement>

## (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、流動資産の残高が85,390百万円（前連結会計年度末は86,268百万円）となり877百万円減少しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少（1,103百万円）、商品及び製品の減少（254百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（291百万円）並びに仕掛品の増加（99百万円）等があったことによるものであります。固定資産の残高は46,659百万円（前連結会計年度末は46,188百万円）となり470百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の土地の増加（577百万円）、建物及び構築物の減少（572百万円）並びに機械装置及び運搬具の減少（219百万円）、無形固定資産のソフトウェア仮勘定の増加（631百万円）並びにのれんの減少（93百万円）等があったことによるものであります。

負債につきましては、流動負債の残高が39,250百万円（前連結会計年度末は43,064百万円）となり3,813百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（420百万円）、短期借入金の減少（2,452百万円）、未払金の減少（653百万円）並びに契約負債の増加（194百万円）等があったことによるものであります。固定負債の残高は17,253百万円（前連結会計年度末は15,307百万円）となり1,945百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加（2,803百万円）、長期リース債務の減少（547百万円）等があったことによるものであります。

純資産につきましては、当中間連結会計期間末における残高が75,545百万円（前連結会計年度末は74,085百万円）となり1,460百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加（1,825百万円）等があったことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ847百万円減少し、23,254百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,184百万円の増加となりました。

主な増加要因は、税金等調整前中間純利益4,878百万円、減価償却費2,590百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支払額799百万円等があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,068百万円の減少となりました。

主な増加要因は、定期預金の払戻による収入638百万円等であり、主な減少要因は、定期預金の預入による支出1,433百万円、有形固定資産の取得による支出2,922百万円並びに無形固定資産の取得による支出1,389百万円等があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,491百万円の減少となりました。

主な増加要因は、長期借入れによる収入3,017百万円等であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出511百万円、リース債務の返済による支出677百万円、短期借入金の純増減額2,119百万円及び配当金の支払額1,200百万円等があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績動向等を踏まえ、2025年3月期の連結業績予想を以下の通り修正いたします。

## 2025年3月期通期の連結業績見通し

売上高	153,500百万円	(前回予想151,000百万円)
営業利益	11,400百万円	(同 10,400百万円)
経常利益	10,400百万円	(同 10,200百万円)
親会社株主に帰属する当期純利益	6,600百万円	(同 6,400百万円)

なお、通期の為替レートにつきましては、1米ドル145円、1ユーロ160円を想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,029	24,865
受取手形、売掛金及び契約資産	28,617	27,514
有価証券	49	48
商品及び製品	13,691	13,437
仕掛品	818	918
原材料及び貯蔵品	12,626	12,918
未収入金	1,994	1,798
その他	3,892	4,184
貸倒引当金	△451	△293
流動資産合計	86,268	85,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,409	14,836
機械装置及び運搬具（純額）	12,915	12,695
土地	3,936	4,514
その他（純額）	4,144	4,401
有形固定資産合計	36,406	36,448
無形固定資産		
ソフトウェア	1,541	1,671
ソフトウェア仮勘定	1,157	1,788
のれん	380	286
その他	763	672
無形固定資産合計	3,841	4,419
投資その他の資産	5,941	5,792
固定資産合計	46,188	46,659
資産合計	132,457	132,050
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,099	6,679
電子記録債務	12,303	11,666
短期借入金	3,732	1,279
契約負債	7,518	7,713
未払金	4,399	3,745
未払法人税等	558	426
引当金	2,224	2,189
その他	5,227	5,550
流動負債合計	43,064	39,250
固定負債		
長期借入金	8,366	11,169
リース債務	4,196	3,648
退職給付に係る負債	1,065	1,057
その他	1,679	1,378
固定負債合計	15,307	17,253
負債合計	58,372	56,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,468	8,468
資本剰余金	7,763	5,347
利益剰余金	51,718	53,544
自己株式	△4,801	△2,265
株主資本合計	63,149	65,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	869
為替換算調整勘定	7,689	6,588
退職給付に係る調整累計額	9	5
その他の包括利益累計額合計	8,127	7,463
新株予約権	19	12
非支配株主持分	2,789	2,974
純資産合計	74,085	75,545
負債純資産合計	132,457	132,050

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	69,786	76,090
売上原価	41,093	44,972
売上総利益	28,692	31,118
販売費及び一般管理費	24,071	25,339
営業利益	4,620	5,778
営業外収益		
受取利息	251	275
受取配当金	0	8
その他	96	111
営業外収益合計	349	395
営業外費用		
支払利息	188	240
為替差損	386	371
正味貨幣持高に関する損失	—	551
その他	86	126
営業外費用合計	662	1,290
経常利益	4,307	4,883
特別利益		
固定資産売却益	26	7
その他	—	0
特別利益合計	26	7
特別損失		
固定資産除却損	29	11
固定資産売却損	6	0
投資有価証券評価損	915	—
事業再編損	1	—
退職給付費用	1	—
特別損失合計	954	11
税金等調整前中間純利益	3,379	4,878
法人税、住民税及び事業税	1,141	1,054
法人税等調整額	△165	345
法人税等合計	976	1,399
中間純利益	2,402	3,478
非支配株主に帰属する中間純利益	411	450
親会社株主に帰属する中間純利益	1,991	3,028

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,402	3,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	408	440
為替換算調整勘定	2,007	△1,366
退職給付に係る調整額	△70	△3
その他の包括利益合計	2,346	△929
中間包括利益	4,748	2,549
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,530	2,363
非支配株主に係る中間包括利益	217	185

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,379	4,878
減価償却費	2,404	2,590
のれん償却額	72	77
固定資産売却損益 (△は益)	△20	△6
固定資産除却損	29	11
事業再編損	1	—
正味貨幣持高に関する損失	—	551
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	79
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	172	△158
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	218	△7
受取利息及び受取配当金	△202	△283
支払利息	139	240
為替差損益 (△は益)	△573	465
投資有価証券評価損益 (△は益)	915	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△43	496
棚卸資産の増減額 (△は増加)	433	△858
仕入債務の増減額 (△は減少)	△654	△774
未払金の増減額 (△は減少)	△414	△221
その他	△166	△154
小計	5,693	6,926
利息及び配当金の受取額	202	283
利息の支払額	△139	△225
法人税等の支払額	△1,107	△799
事業再編による支出	△1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,648	6,184
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△949	△1,433
定期預金の払戻による収入	1,180	638
有形固定資産の取得による支出	△3,529	△2,922
無形固定資産の取得による支出	△1,122	△1,389
有形及び無形固定資産の売却による収入	37	9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△600	—
その他	43	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,940	△5,068
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△872	△2,119
長期借入れによる収入	2,930	3,017
長期借入金の返済による支出	△2,963	△511
リース債務の返済による支出	△575	△677
配当金の支払額	△1,167	△1,200
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	31	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,618	△1,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	687	△472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,223	△847
現金及び現金同等物の期首残高	20,751	24,102
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,527	23,254

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2024年5月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月28日付で自己株式1,285,300株を消却いたしました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ2,433百万円減少しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動認識ソリューション事業（日本）	自動認識ソリューション事業（海外）	合計
売上高			
外部顧客への売上高	36,229	33,557	69,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,817	4,823	7,640
計	39,046	38,380	77,427
セグメント利益又は損失(△)	△103	4,515	4,411

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,411
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	208
中間連結損益計算書の営業利益	4,620

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動認識ソリューション事業(日本)	自動認識ソリューション事業(海外)	合計
売上高			
外部顧客への売上高	37,545	38,545	76,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,977	6,765	11,743
計	42,522	45,310	87,833
セグメント利益	959	4,889	5,849

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,849
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	△70
中間連結損益計算書の営業利益	5,778

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。